

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年7月29日

事業ID:2023S02865

事業名:佐賀県唐津市の「子ども第三の居場所」

(A)常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供(2023)

団体名:特定非営利活動法人博心館

代表者名:理事長 加藤博彦 印

TEL:0955-58-8230

事業完了日:2024年6月30日

■契約時

事業費総額	:	1,980,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	1,980,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	1,940,204 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	1,940,204 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	39,796 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

■事業内容1

(1)支援契約書記載の事業内容(予定)

1.農業体験の実施
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市
(3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名
(4)内容:児童が野菜を育てて、収穫し、食し、自然の恵みを体感する。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.農業体験の実施
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市
(3)対象:子ども47名、スタッフ8名
(4)内容:児童が野菜を育てて、収穫し、食し、自然の恵みを体感することができた。

(3)成功したこととその要因

野菜の種や苗から野菜を植え、大切に育て、収穫までを行うことで達成感と充実感を味わうことが出来た。また収穫した野菜などを獲れたての新鮮な状態で、様々な調理法で作ってもらい実際に食することで、野菜の本当の美味しさを感じることができたようだ。自分たちの育てた野菜を家に持ち帰り、お家の人に褒めてもらうことで自信を持ち自己肯定感の向上に繋がった。

(4)失敗したこととその要因

1.予定していた通りに事業を実施できた。

(5)事業内容詳細

秋ジャガイモ定植(9月9日)・サツマイモ収穫(10月7日)・秋ジャガイモ、大根収穫、玉ねぎ定植(12月9日)・春ジャガイモ定植(2月10日)・春ジャガイモ収穫(6月10日)を行った。期間中にほぼ予定していた農作業を行うことが出来た。また定期的に畑へ行き、草取りも行った。博心館では農作業体験を継続しておこなっているおかげか、暑い日も寒い日も笑顔で進んで農作業のにとりくむ姿が見られた。農業の大変さ、厳しさと共に楽しさ、面白さを感じてくれたと思う。

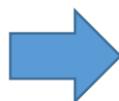
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.自然体験等の実施
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市内キャンプ場・鏡山・海水浴場・小戸公園・北波多公園等
(3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名
(4)内容:自然の中で、デイキャンプ・登山・海水浴・公園遊びを通して遊びながら自然に親しむ。

(2)事業内容の実施(完了)状況

2.自然体験等の実施
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市内キャンプ場・鏡山・海水浴場・小戸公園・北波多公園等
(3)対象:子ども47名、スタッフ8名
(4)内容:自然の中で、デイキャンプ・登山・海水浴・公園遊びを通して遊びながら自然に親しむことができた。



(3)成功したこととその要因

自然の中で思い切り楽しむことで、リラックスした時間と良い思い出ができた。またデイキャンプでは過酷な自然のなかで知恵を絞って、火起こしから材料準備、調理までを自分たちで行った。協力し合う大切さを知り、非認知能力の向上に繋がった。自然に身を置くことで日頃のストレスを発散し、心地よい時間を仲間たちと過ごすことが出来た。また水難事故が多発していたため、海水浴の際は事前に綿密な計画を立て、多めのスタッフで臨んだ。児童はケガすることなく安全に楽しく活動を行うことが出来た。
(小戸公園⇒今津運動公園 駐車場から公園までのルートが危険であると判断し場所変更を行った)
(波戸岬キャンプ場、厳木キャンプ場⇒キャンプブームでお客さんが増え、安全を考慮して貸切利用のできる佐志キャンプ場に変更した。)

(4)失敗したこととその要因

1.状況変化があり、予定どおりの実行ができないことがあったが、目的に即した臨機応変な対応で事業を実施できた。

(5)事業内容詳細

自然いっぱいの運動公園(四季の丘公園7/27、今津運動公園11/25、河畔公園4/6)へ行き、体をダイナミックに使い遊んだ。また大きな草原広場で児童主催のレクリエーションを行い、仲間との親睦を深め達成感を味わった。また地元の海水浴場(相賀の浜 8/3)へ行き、ふるさとの美しい海と自然に触れ、郷土愛を育んだ。デイキャンプ(佐志デイキャンプ5/11、9/30)では、自分たちで準備、調理したBBQを美しい景色が広がる場所で味わったあと、思い切り自然と遊んだ。

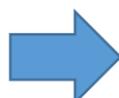
■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3.文化体験(演劇・演劇鑑賞・和太鼓)
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市文化体育館ホール他
(3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名
(4)内容:人形浄瑠璃の指導者の指導の下、演劇に挑戦する。また、和太鼓に触れ、簡単な曲の演奏にも挑戦する。

(2)事業内容の実施(完了)状況

3.文化体験(演劇・演劇鑑賞・和太鼓)
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:佐賀県唐津市文化体育館ホール(演劇)・唐津市内(和太鼓体験)
(3)対象:子ども47名、スタッフ8名
(4)内容:人形浄瑠璃の指導者の指導の下、演劇に挑戦することができた。和太鼓体験、演劇鑑賞については、実施することが出来なかった。



(3)成功したこととその要因

3.演劇発表では、4カ月にわたって日々練習に励み、本番では見事素晴らしい演劇を発表することが出来た。中には内気で引っ込み思案な子も参加したが、役に成りきり自分を思いっきり表現することが出来た。また観てくれたお客さんの中には感動の涙を流してくれたり、来年も観に行く、と応援の言葉をかけて下さる方もいて、大きな自信につながった。人形浄瑠璃保存会の方の指導の下、昔ながらの歌や踊りも大勢の前で発表した。

(4)失敗したこととその要因

和太鼓体験、演劇鑑賞については、見学、体験を予定していた先方の都合で日程が合わず、実施することが出来なかつた。

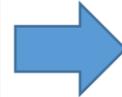
(5)事業内容詳細

演劇の練習は週に2~3回行った。週に1度は地元の唐津で日本の伝統芸能「人形浄瑠璃」の公演・指導をしておられる竹本鳴子太夫に指導して頂いた。鳴子太夫推薦で児童たちが大好きな作品「千と千尋の神隠し」をアレンジし、台本から作成した。アイデアを出し合い、ユーモアたっぷりの児童たちらしい作品ができあがった。約400名収容できる大ホールに緊張ぎみの児童だったが、公演は大成功だった。(唐津市民文化祭 11/12)公演後に感想を聞いてみると、舞台上上がった瞬間「楽しくて仕方がなかった！」という言葉が聞けた。また舞踊や歌の発表も行った。拍手喝さいを浴び、なかなかできない素晴らしい体験になったと思う。
また工作教室、粘土教室、茶道教室、リズムダンス教室、料理教室など、様々な専門知識を持った外部講師を招き、楽しく活動を行った。

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4.保育・運動環境の整備
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:博心館
(3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名
(4)内容:読書や室内遊び、外遊び等の環境整備を行う。



(2)事業内容の実施(完了)状況

4.保育・運動環境の整備
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:博心館
(3)対象:子ども47名、スタッフ8名
(4)内容:読書や室内遊び、外遊び等の環境整備を行った。

(3)成功したこととその要因

工作絵本を多数購入し、日々子どもたちの自由遊びでの工作で活用している。
音のなる絵本やしかけ絵本なども揃えたことで、今まであまり本に触れて来なかった児童も興味を持ち、本をよく手にする姿が見られた。
また古くなり危険のあった運動器具や玩具も新しいもの買い替えたことで、より安全に楽しく遊べる環境が整った。

(4)失敗したこととその要因

予定した通りに事業を実施できた。

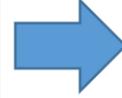
(5)事業内容詳細

季節を感じられる絵本、自分たちで取り組める工作や折り紙の絵本、しかけ絵本などを購入した。また保育の環境を見直し、外遊びや室内遊びに必要な運動器具を多数購入した。児童の遊びの幅が広がり、充実した活動につながった。

■事業内容5

(1)契約時の事業内容

5.動植物園、水族館等の見学
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:福岡市水族館・福岡市動植物園
(3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名
(4)内容:楽しみながら学べる機会を提供する。



(2)事業内容の実施(完了)状況

5.動植物園、水族館等の見学
(1)期間:2023年7月~2024年6月
(2)場所:福岡市水族館・福岡市動植物園・宇宙科学館
(3)対象:子ども47名、スタッフ8名
(4)内容:楽しみながら学べる機会を提供できた。

(3)成功したこととその要因

動物園、水族館の見学をすることで、動物を身近に観察し癒され、命の尊さについて学びながら、日頃のストレスを発散することができ興味を広げ、知識を深めることが出来たと思う。
また宇宙科学館等を見学し、遊びながら宇宙や自然、エネルギーについての知識を深めることが出来た。
縦割りのグループ活動をすることで仲間意識や協調性を育むことが出来た。

(4)失敗したこととその要因

予定した通りに事業を実施できた。

(5)事業内容詳細

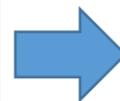
福岡市水族館:8月18日(木)、福岡市動植物園:2月3日(土)、宇宙科学館:6月8日(土)
いずれもバスにて往復、グループごとに館内体験した。

■事業内容6

(1)契約時の事業内容

6.宿泊体験・月毎の誕生会・季節毎の行事・地域行事への参加

- (1)期間:2023年7月~2024年6月
- (2)場所:佐賀県唐津市、博心館近郊
- (3)対象:子ども45名、スタッフ5~6名



(2)事業内容の実施(完了)状況

6.宿泊体験

- ・月毎の誕生会・季節毎の行事
- ・地域行事への参加→コロナにより開催されず実行できなかった。

- (1)期間:2023年7月~2024年6月
- (2)場所:(宿泊体験)佐賀県唐津市波戸岬、(その他事業)博心館
- (3)対象:子ども47名、スタッフ8名

(3)成功したこととその要因

・一泊二日の宿泊体験では、親元を離れての宿泊がはじめての児童も多く、心配や不安をかかえる児童や保護者も多かったが、事前にスタッフで何度も話し合いを重ね、綿密な計画を立て、保護者向けの詳細説明や児童がワクワクするようなおしりを作成・配布することでたくさんの参加があり、全員がのびのびと充実した、思い出に残る2日間を過ごすことができた。

また館内イベントでは実行委員会を発足し、こども会議を行って児童主体で計画や準備を行った。ひとつひとつの行事を思い切り楽しみ、達成感と充実感を味わうことができた。

・毎月誕生会ではみんなで歌を歌い、その月の誕生者を盛大にお祝いした。祝福すること、されることの喜びを感じ、児童たちの笑顔がたくさんみられた。

・季節ごとの事業では、開催前の説明でその行事の意味などを伝えることでより意味のある事業となった。

(4)失敗したこととその要因

地域行事への参加は、新型コロナウイルス対応により開催されず、実行できなかった。

(5)事業内容詳細

・波戸岬少年自然の家での宿泊体験(3月28日)では、自然工作、アスレチック遊び、草スキー、キャンドルの集い、野外炊飯など自然いっぱいの広大な敷地のなかで様々な体験活動を行った。また他の利用団体とのつどいや交流会にも参加した。

キャンドルの集いでは美しい灯火の中で児童たちが作った短編劇を発表したり、大好きなダンスを踊ったりして楽しく過ごした。児童にとってかけがえのない思い出になったようだ。

・月毎誕生会では、月ごとに開催し、子ども達で司会をしたり誕生者をみんなで祝いする形式をとった。

・季節毎の行事では、正月、節分、七夕、クリスマスなど季節ごとの行事を行い、都度行事の由来を知り日本文化に触れることができた。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

- 1.農業体験の実施
- 2.自然体験等の実施
- 3.文化体験(演劇・演劇鑑賞・和太鼓)
- 4.保育・運動環境の整備
- 5.動植物園、水族館等の見学
- 6.イベントの実施(宿泊体験・月毎の誕生会・季節毎の行事・地域行事への参加等)

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	591	文字数チェック	OK
<p>1.農業体験の実施 種や苗から育て収穫までを行うことで達成感と充実感を味わうことが出来た。収穫物を食べたり食育もできた。育てた野菜の持ち帰り保護者に褒めてもらうことで自信を持ち自己肯定感の向上に繋がった。</p> <p>2.自然体験等の実施 自然の中で思い切り楽しむことで、リラックスした時間と良い思い出ができた 準備実行片付けと協力し合う大切さを知り、非認知能力の向上に繋がった。</p> <p>3.文化体験(演劇・演劇鑑賞・和太鼓) 人形浄瑠璃の指導者の指導の下、演劇に挑戦することができた。 和太鼓体験、演劇鑑賞については、実施することが出来なかった。</p> <p>4.保育・運動環境の整備 工作絵本を多数購入し、日々子どもたちの自由遊びでの工作で活用できた。 今まであまり本に触れて来なかった児童も興味を持ち、本をよく手にする姿が見られた。</p> <p>5.動植物園、水族館等の見学 楽しみながら学べる機会を提供できた。 縦割りのグループ活動を行うことで仲間意識や協調性を育むことが出来た。</p> <p>6.イベントの実施(宿泊体験・月毎の誕生会・季節毎の行事・地域行事への参加等) 宿泊体験は、全員がのびのびと充実した、思い出に残る2日間を過ごすことができた。 毎月の誕生会では、誕生者をお祝いし児童たちの笑顔がたくさんみられた。 季節の事業では、開催前の説明でその行事の意味などを伝えることでより意味のある事業となった。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

様々な体験の機会に恵まれない家庭への、社会体験の提供による社会的相続の補完ができた。各事業で、ほかの児童と共にグループ行動をすることで、コミュニケーション能力、協調性や社会性などの非認知能力向上につながることができた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・計画時点での事業内容が、先方のご都合や社会的な情勢や環境により変更せざるを得ない案件が数件あったので、その都度、実行可能な内容へ変更した。変更の可能性を前提での計画立案や予算配分を行う必要があると感じた。
・様々な体験活動を行うなかで、全体をまとめたり、児童の個性や特性に合わせた声かけや配慮の向上できればと感じる。
場面場面に合った対応、児童のやる気をアップさせられるような声かけや、ひとりひとりに寄り添った支援のスキルが今よりもアップできれば、プログラムの質が更に高まると考える。児童育成支援などの研修参加などを検討したい。

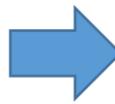
5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

事業成果物(報告書、整備した物品の写真など)

(2)事業完了時の成果物名称

事業成果物(当報告書)
事業成果物(整備した物品の写真などは別添)



(3)未作成となった要因

未作成はありません。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/31562>